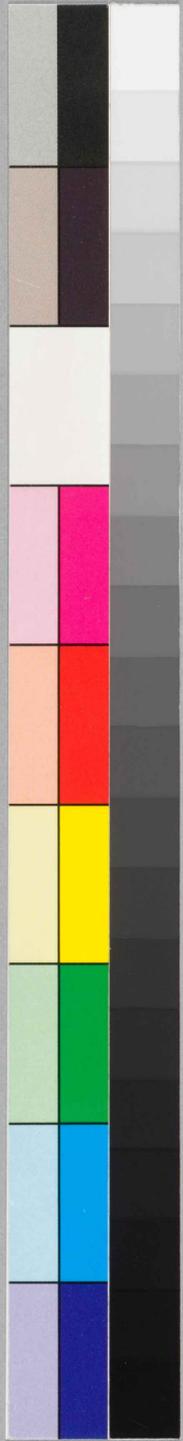


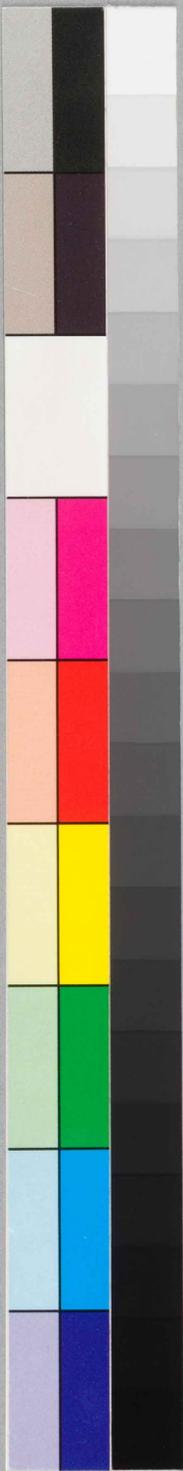
諸病治法

室町期
書



諸病治法





ちりり：甘き薬をいそぐ
才三ちりりとたそそいぬき薬は

能うけのこちやしりる

済民記
十全内神散
号流氣飲

しりるのこちやしりる
しりるのこちやしりる
しりるのこちやしりる

おしりるのこちやしりる
痛止す

金銀花 二分

しりるのこちやしりる

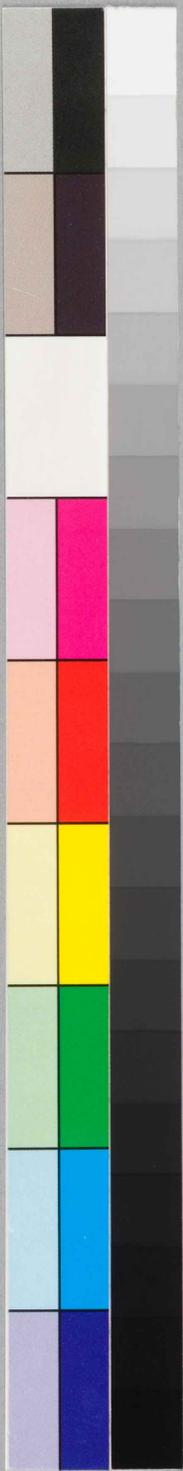
塩水ニ蒸炙

しりるのこちやしりる

しりるのこちやしりる

しりるのこちやしりる

しりるのこちやしりる



あんぢん
らん
せん

あらけい
せん

右さうじゆはまのあをせとけの

いひめちの

^{クワギ}黄耆湯
らふと下るきをれめ

と治るるもたまき志ありん

いひめ
あやめ
ちん

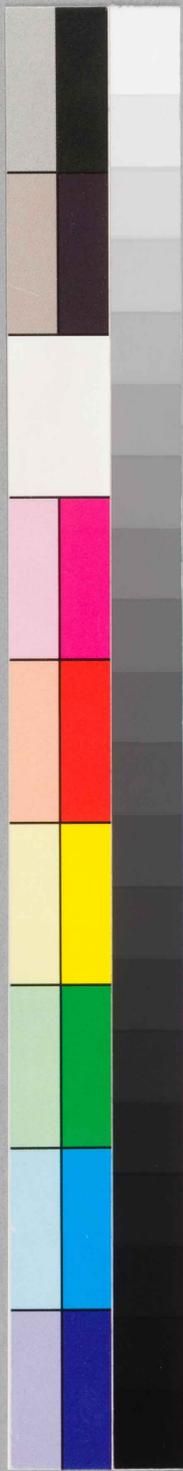
せんぢん
せんぢん
けん

せんぢん
せんぢん
けん

せんぢん
けん

右さうじゆはまのあをせとけの

いひめ



五香連翹湯 ゴコウレンシキヤウトウ

一斗五升

一斗五升 水 煎 取 汁 服 之 日 三 服 每 服 一 升

ちんこう チンコウ ちんこう チンコウ ちんこう チンコウ ちんこう チンコウ ちんこう チンコウ

厚朴 コウハク 厚朴 コウハク 厚朴 コウハク 厚朴 コウハク 厚朴 コウハク

右の如くして煎じ 汁を 一斗五升 取 汁 服 之 日 三 服 每 服 一 升

ク傳あつる

神邊托裏敬

ふとちれのり

腸瀰

印 トシ 毒腫疼痛 かん 移りとき

汗 ラウサイ 虚勞 シメル 治ス

かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ

右 シ 治 シ 治 シ 治 シ 治 シ

托裏柔衛湯

ふとちれのり

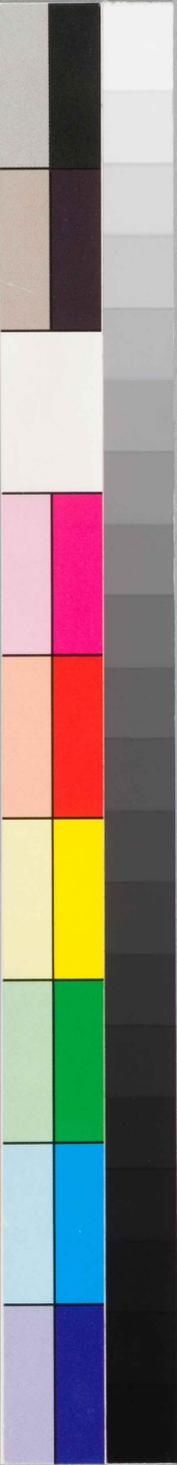
毒腫 ラウサイ 治ス

かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ

かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ

かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ かん 子めこ

右 シ 治 シ 治 シ 治 シ 治 シ



黄耆人參湯 ワウキ シンジツウ

とらふのちをゆゆ

やうやくのらあま

キヨコツ 虚極 ハトロシ

麦門冬 バクモントウ

ちんひやうま

五味子 ゴミ

いんげん

右 ゲ 湯 トウ せいのめい

解毒散 ゲドクサン

らふをいづりていんげん

あつゝいんげん

さいく サイク せうま セウマ せうま セウマ せうま セウマ

りん リン せう セウ けん ケン けん ケン けん ケン

かん カン せう セウ けん ケン

右 ミドリ の ノ せいのめい

麦門冬湯 バクモントウ ちん チン ひ ヒ や ヤ う ウ ま マ 湯 トウ

氏記

のららるるのやまを治す

ぢりん じりん じりん せんぢん

ぢりんぢりんぢりんけい ぢりんぢりんぢりん

ぢりんぢりんぢりん

右ささぎんぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

入りぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

内捲針麻湯 ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

右ささぎんぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん
ぢりんぢりんぢりんぢりんぢりん

ききやうせうまかんえんきやう
けんぜんかんぜん
かー ぜんせき けいらい
右りももつてけんかをこころとあつ
あつこのむら

神邊散 ちの肉ノやまい ちのちり

ききやうせうまかんえん
せうまかんえん
ききやうせうまかんえん

右りももつてけんかをこころとあつ

うらこのむら 唯痺をたれあがり

たるあへ吹葉よし 皮袋ハリキ

たるこまなは又のこころよし 唯蛭た

ガリ
サキツクリテ少シキヨシ

モチシツバをうとけつ少シキヨシ

申ニモ唯腫ニハ待アリ

乳香止痛散 一切腫物疼痛ヤハル

ツヤムニ

少シテニモハルヤニモ

ニモハルヤニモハルヤニモ

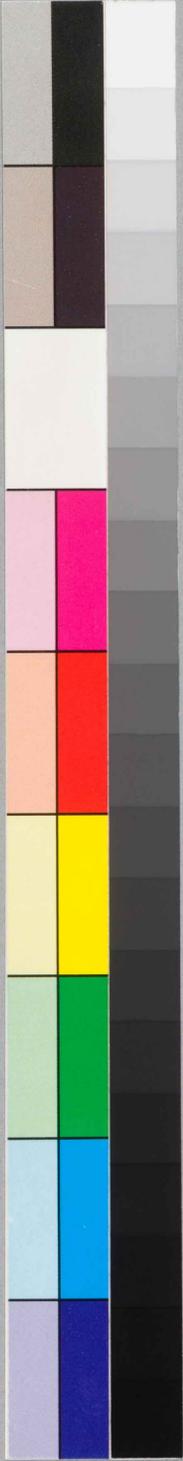
右方とせしもの

仲麻飲 心風熱 小瘡多シ治

セトシニモハルヤニモ

キニクニモハルヤニモ

かん



右子のさくせり

^{ヘキ}藤煉敬 ^{イサシ} 志をばくせし

中 ^大

右付まき一さの志ありらめりけし
あり従をれめりめりり付志る
かゝるまう ^{あつ}まあひす

^{あつ}まあひす

あつまあひす ^{あつ}まあひす ^{あつ}まあひす
あつまあひす ^{あつ}まあひす ^{あつ}まあひす
あつまあひす ^{あつ}まあひす ^{あつ}まあひす

あつまあひす ^{あつ}まあひす ^{あつ}まあひす

あつまあひす ^{あつ}まあひす ^{あつ}まあひす

あくとそらのよおをて使

神仙寶命丹 一さいのあくきり

いまりごしきりそきりしきりきりあ

あきりてきりきりそたる地きりてけ

きりきりきりきりきりきりきりきり

の毒^{ドク}きりきりきりきりきりきりきり

あきりきりきりきりきりきりきり

あきりのきりきり

麝香^{ジヤコウ} 大戦^{ダイゲキ} 子^コ 續^{ツク} 子^コ 辰^{チン} 破^ハ

龍腦^{リウノウ} 虫^{ムシ} 蛤^{カク} 山^{サン} 子^コ 根^{コン} 子^コ 草^{ソウ} 文^{ブン}

右細^{サイシテ} 末^{マテ} ソ^ソ イ^イ テ^テ ○[○] 丸^{マル} 中^{チュウ} ち^チ む^ム ろ^ロ 粒^{リツ}

あきりきりきりきり



右一印の在りぬをちりをとたそとたて
すともこまかへてしらくはゆ

カニ
ちりふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ
ちりふいふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ

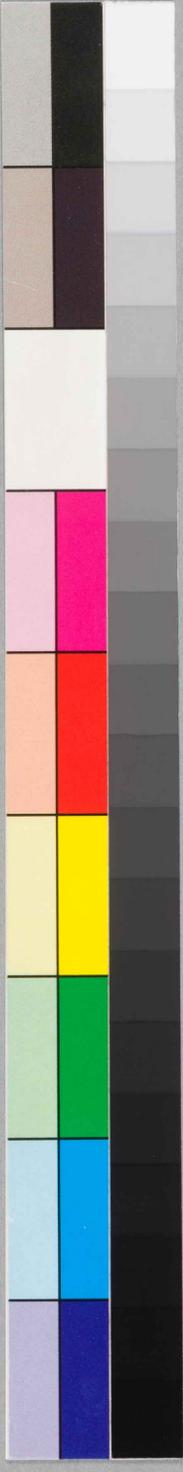
ちりふいふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ

ちりふいふいふいふいふいふ



あししせしり

うし子くー

ちんちん

志中

ちんちん

百

か。これのえき4

えつあ十八

あつあを母て

あをけとしむ

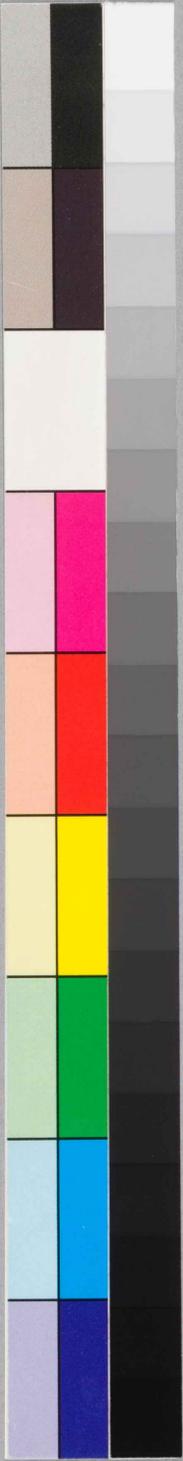
もゆー

うし子くー

あししせしり

これのちんちん

あつあ



しんきうとゆりし

らやのきりやうやうをまをこ

くこまかく上りもけたるえ

やうとくあへにけまきりし又ちす

ある火^きつえもとくまきこまな業

りしにまきらるるがうれあるをい

かひあういんむいあうの業と内業を

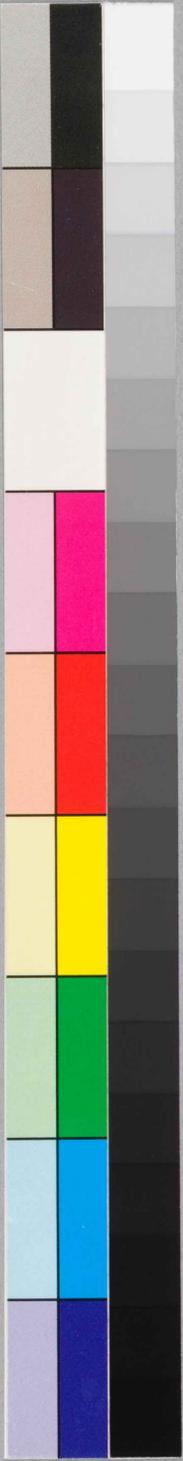
かんちりふりし

らや付業 ^中うしれん ^中まやえ ^中

ちや ^中あはげの ^大たん ^女たん

右ニやをむきうけよ一日にまわ

いんちりえあうしに付し



かゝるにさうし
いふにまじりて

ちよとていふにまじりて
かゝるにさうし

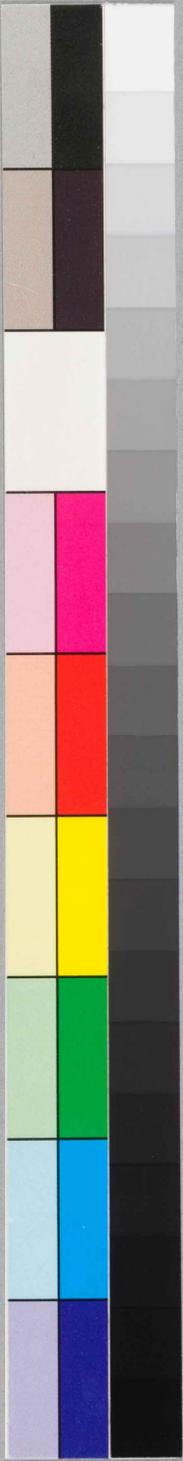
かゝるにさうし
いふにまじりて

あせんやうにまじりて
いふにまじりて

たゞ又あつたのた
あつた

まゝとていふに
まじりて

あつたのた
あつた



しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
がしんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
はくしんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
あゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく

カ
三

あゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
あゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
あゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
あゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
あゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく
しんあゝるゝいりてはくしんあゝるゝいりてはく

百
あ

十二味茶

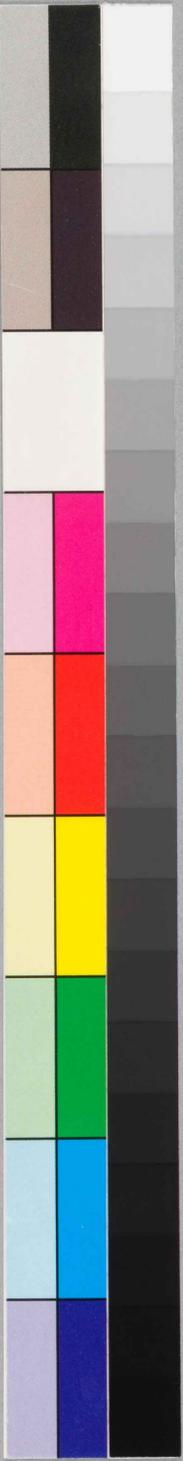
ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん

ちんくわんの由

ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん

ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん

ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん ちんくわん



て ぢりきあ 中 ぢりきあ 中 ぢりきあ 中

りん 中 ぢりきあ 中 ぢりきあ 中

ぢりきあ 中 ぢりきあ 中 ぢりきあ 中



大倉んげんしほじり

ちりき ^{イチニ} 一味の丸薬とナア

ちりき 一合の甲

右き黄葉をちりき ちりき

し

けんし

けんし ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ}

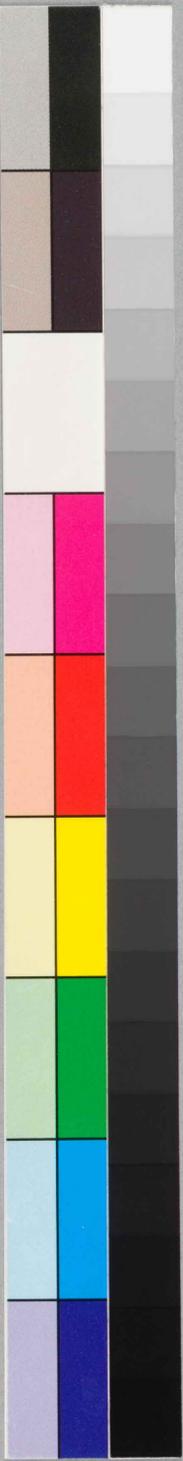
ちりき ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ}

あまのし ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ}

右ニきり ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ}

左甲やちりき ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ}

ちりき ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ} ^{ニニ}



しとけ^しにカブ又カブあつひり汁

しとけをせそぬす時^しと^し

ら^ち茶^ちえ^ちゆよこ^ち白^ち口^ちち^ち茶^ち

しとけ^しを^しま^しる^し一^し茶^し下^しや^しこ^しの^しぬ

^お四^おつ^おぐ^おぎ^おの^お汁^おま^お

う^うぐ^うき^うと^うと^う志^うの^うり^うる^うか^うゆ^うを^うく^うす^う

く^くら^くう^くろ^くい^くん^く大^くたん^くせ^くさ^く中^くち^くら^くん^く

右^右こ^右か^右し^右と^右あ^右ろ^右を^右付^右ヨ

一^一切^一の^一き^一たん^一と^一く^一あ^一

あ^あも^あぎ^あの^あく^あら^あき^あ大^あち^あら^あじ^あ小^あ

右^右か^右の^右あ^右ろ^右を^右付^右ヨ

又^又い^又く^又ま^又あ^又ら^又あ^又ろ^又ん^又一^又味^又ぢ^又ち^又ら^又あ^又

ちるあし付てふふり

一音いりりりりりりりり

こるひまきこのりりりりりり

女合仕りゆきふすりりりりりり

ちりりりりりりりりりりりり

りりりりりりりりりりりりり

ちりりりりりりりりりりりり

ちりりりりりりりりりりりり

ちりりりりりりりりりりりり

右合のりりりりりりりりりり

ちりりりりりりりりりりりり

本キのりりりりりりりりりりりり



ちりえきうたをさかや
たき又おろのたきい
ちりのゆえきうたをさ
きり

か...田か...と...あ...と...
たんちと...か...の...り...
さ...け... 寺...
き...と...と...と...
か...の...業

か...の...業
か...
か...
か...
か...
か...

右せんぢやうやくせむ日田に二まな田葉

一タイフシ大風子 大 一ミミミガ 大 一ミミミガ 大

一ミミミガ 中 一ミミミガ 小

右合ニヤと一ミミミガ 三ミミミガ

湯中一ミミミガ 一ミミミガ

非非

一ミミミガのあや 一ミミミガのニヤ

おん合をねりて乃血チのさあは

く申一ミミミガ血乃よるあひせ

一ミミミガ 一ミミミガ

一ミミミガ 大 一ミミミガ 小 一ミミミガ 大

一ミミミガ 小 一ミミミガ 大 一ミミミガ 大

一ミミミガ 大 一ミミミガ 大

一馬の角大 一ちりや大 一上大のち大

一まいてんぐい大 一大のち大

一人のち大のむ大 一大のち大

一ちりや 右ちりや大を大のち大

一大のち大

一ちりやを大と大と酒大を大他大

一大の酒大を大と大と塩大と大のち大

一大の酒大と大のち大と大のち大

一ちりやと大のち大と大のち大

一ちりやと大のち大

一大のち大

一大のち大と大のち大と大のち大

かんおのり いせのちぢ也

くろあき くら ちあき

くたご くら くのちり

くらなら らいのち キド

くたご いせのち いんかん

く いせのち いんかん

汁 いせのち いんかん

あ いせのち いんかん

あ いせのち

く いせのち いんかん

く いせのち いんかん

く いせのち いんかん

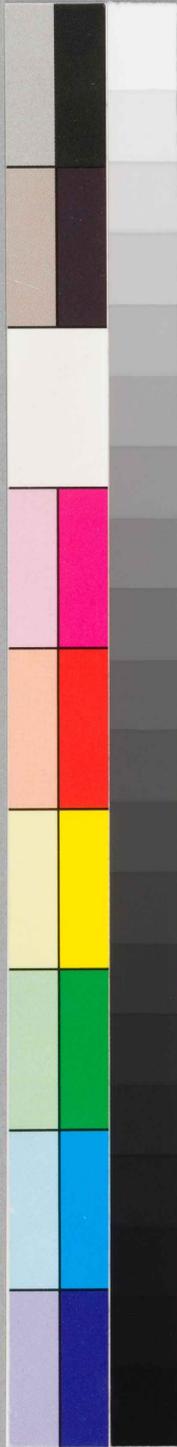
く いせのち いんかん

一あつてまゝに右をまゝにまゝに
たんとしつゝまゝにまゝのまゝに右
田舎に但移るのあつたまゝにまゝに
ゆゑらあり

あつてまゝのまゝ

一あつてまゝにまゝにまゝのまゝに
あがりまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに

あつてまゝのまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝにまゝにまゝに



侍^レニ 一^レ ちんぞん^レ 十^レ 一^レ ちんぞん^レ

一^レ ちんぞん^レ 右、あ^テ 天^ニ 同^ク 中^ニ 一^レ 酒^サ

中^ニ 酢^ス 中^ニ 入^ル 中^ニ 一^レ 中^ニ 一^レ 中^ニ

中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ

一^レ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ 中^ニ

かきさんご...
ともし

イ
イ
イ

備急田ヒキウエシ之積ヒキウエシ一切ノ版ヒキウエシナリ

一切ノ...

...

一...

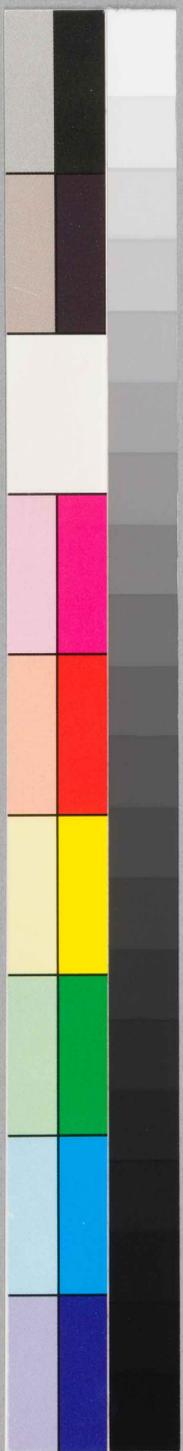
一...

右...

カ...

し...

...



わさつらりし一從中がさる御
とくせやまの時としをまを田んぼ
二日一回をせけとしむこま日々守
二又次日可用し得

一をたゆま一をちる一をちる一を
一をちる一をちる一をちる一をちる

右蜜一箱り大人〇〇号程小
児〇〇号程〇七〇号程十歳まで
此より一箱一箱ゆえに一箱一箱
一箱一箱ゆえに一箱一箱ゆえに
一箱一箱ゆえに一箱一箱ゆえに
一箱一箱ゆえに一箱一箱ゆえに

中

一 ちうんかのきりり... ちうんか...
ういしうむき... 一ういんとこしを
るのあがうそとき火ノ上におき
らうくわうらうを付て他を白く
具あといわらせとさうちをく入
あそめいりり... 又一 ^{ホウ}カ... くらせ

とこふと右のまに合を付しり
一 ちうんかのきりり... 白く...
ういしうむき... 光つ...
付まを付て... 他を...
今... を付て... ちうんか
し... ちうんか... ちうんか

あんなにやるともわいしりまるといふは

いふもて

不^{ハク}見^クら^ニの^ニの^ニこ^ニら^ニり^ニあ^ニい

らんらんまををこめそそらいとす

この面らんらんまをを却合ら

付あめららと付とあけはら

松^ノた^ラう^クら^リー^スす^セ米^ノす^シ

わ^カら^ハ

こ^ノら^ニい^ハい^ハの^ノ唯^ノめ^キく^ラう^ハい

らんらん^ハの^ノ葉^ノす^キら^ハらん^ハ

らんらん^ハの^ノ分^ノ右^ノめ^キけ^ニ入^テ火^ノ上^ニ

あんなん^ハの^ノら^ハの^ノこ^ノら^ハの^ノら^ハ

あんな^ハの^ノ時^ノと^ハら^ハと^ハり^ハと^ハあ^ニと^ハい^ハか^ニ

一切のくさくさの奴らも
とちと血ッリッ—みひまもあつ
傳えろうらんをうきくらうり—み
ゆまをいひ

^わあまのくさくさの奴ら
らんをいひ 右にやしてちづのあつ

あそ女のうとあつをう—！

ゆして一切の奴らも—

あつ—かあつあつ—ちづ—

ちづちづちづ右のあつ—

あつあつ—あつとちづちづちづ

^わあまのあつちづちづのあつ—

なるのまゝに孫をとらひけりしと

こゝろそりうこお合紙ウミ付たるを

孫とまゝいりていふまゝにまゝと

中十七
くらひさうらぎしのあぢうとあり

こゝろまゝ

中十六
かろくぬひのくらゐらむに

むらゝのまゝい まんまのほろ

ぢうとほろいちとまぢうい

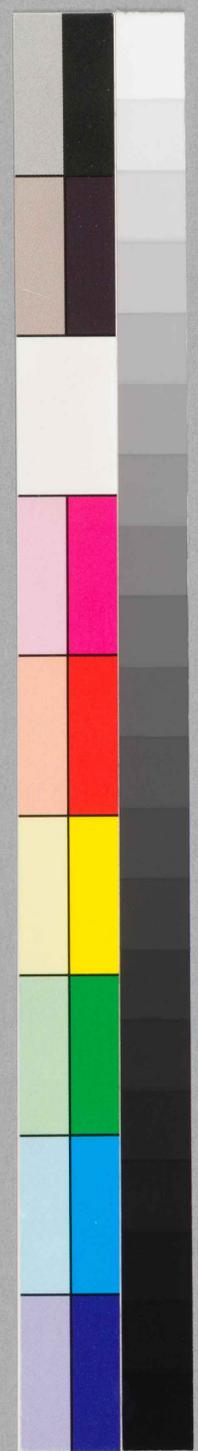
らうとぢうあゝいまゝと

けぢうあていむいこゝろ

中十五
あていむいむれいあて

いあていむいむれいあて

いあていむいむれいあて



移つてらるる中一又移つてらるる

付まゝの右しを付 田中五三 かん志斗

一 味ツ 流のそくち 一 かくりう

のまをよひてまのちかむや

中十九

一 かくかき

ニセニ 神仙寶命丹ト云

一 印ノ毒ツキヤこみいやくそつそくち

りぞすりうりうのこむれをあらう

なまこみそたる地もりて付しニ

一 志ヤウゴエ 一 大げん 一 かくち

一 志ルヤ 一 かくち

一 かん志ニ 一 かん志

右よりらるるニ 〇をこゆえ

心

「カの毒^ル」物^ニ業^ニこ^トり^テ但^テあ^リし

く^ラん^ト出^トモ^ヨし 一人^ノ志^シ一^ニ返^ス

一らん^ト一^ニ返^ス 一か^クち^カあ^ハ十^ニ返^ス 一ゆ^クあ^ハ

化^レ中^ニあ^リる^日に^ハあ^ハる^紙の^上に^ハ書^ク

り^テこ^ノ所^ニこ^ト上^ニに^ハ七日^ノあ^ハる^後に^ハ

右^ノり^テこ^ノあ^ハる^金を^テ写^シす^のは

き^レら^レる^を却^シ合^シ但^テ女^ノあ^ハる^のう^チ

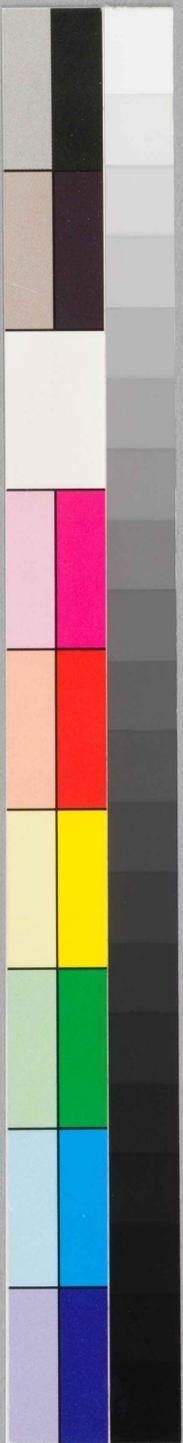
こ^ノり^テこ^ノあ^ハる^のあ^ハる^のあ^ハる^の

右^ノ一^ニ返^スい^ツか^クあ^ハる^の一^ニ返^ス〇^ニ人^ノ主^ト交^ス

か^ク是^レ初^メの^あら^ハる^の物^ノ業^ノ

一あ^ハる^のあ^ハる^のあ^ハる^のあ^ハる^のあ^ハる^の

中



御書よりふ付の業あり

一 ちんたんのとまにん申しるる也

一 ちんたんのとまにん申しるる也 二合 一合 二合

右らうこわうそもろく右をいとあつゆを

たてらむわんどとあつふことなまを

付し又ちんたんのとまにん申しるる也

一 ちんたんのとまにん申しるる也 二合 一合 二合

二 ちんたんのとまにん申しるる也

一 ちんたんのとまにん申しるる也 二合 一合 二合

一 ちんたんのとまにん申しるる也 二合 一合 二合

一 ちんたんのとまにん申しるる也 二合 一合 二合

右が常し内へてうらなひよりあつ

臣 聖旨にこたへたを申

お尋ねにたれゆきされ申すようあり申す

あやふしに申すの時いかに申す

いかに申すのよし申す

「孫のまじりいかに申すのよし申す

をいかに申すのよし申す

「かむむの事と申すのよし申す

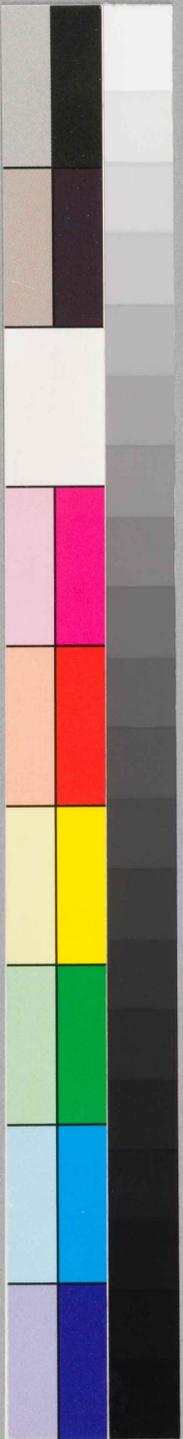
やふしに申すのよし申す

いかに申すのよし申す

まらふしに申すのよし申す

いかに

「らいつまむしに申すのよし申す



のこまぐししそまお包田ゆふをゆらそそ

年一ま心シラカリト漬腸湯スミシマ一ちん中大

一きちん中一ちん中一ちん中一ちん中

かんご下右女書し

小児イモノオホイモノオホトシリ目せハオク
スルニイモスクナシト悪毒ナラス秘蜜ニ

一青木根粉メ大一ツラケ小粉メ合同青木
根ツキガカ菊花を大ニニツラケ右ツラケ右

合せらる粉オツ一ツラケニツラケニツラケニツラケ
一ヨノ内ニニツラケニツラケ

一イモ同ノ素秘素ニメニハシ一味ツラケニツラケ
効ニ一ツラケニツラケニツラケニツラケ

リツキリカケホシメ蜜ニツラケニツラケニツラケ
月土用ノ内ヌルデノヤニツラケニツラケニツラケ

スツノ血ヲ女カヌツラケニツラケニツラケニツラケ
一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ

一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ
一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ

一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ
一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ

一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ
一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ

一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ
一ツラケニツラケニツラケニツラケニツラケ

一ハ痛ムニハロホウヲ薬シウガイニハ草ヲセ
子カニイテコノ葉ノ入カ、ロホウ大大カメリハ

⊕ 腫物下

一ハツカラヒ 一分 一子カシラ黒燧 一分 一白粉 一朱 一黄

一カニキヤウ 一朱 一ウシニ黒燧 一分 一朱 一朱 右粉ノ湯

⊕ 耳先ノ

一イカニ方 一白シ 一分 一カカウ 一分 右カニ池ニトキ入

⊕ ナンサ

一シエロニ粉ノ一ヘビカラ 一ムカニカニボクシ粉ノ右

フノリニトキ用ナリ

⊕ コウ伝ノ葉

一山牛坊子 一ニラ 右午ツシメ世ニ洗ナリ

⊕ シキヤウ葉

一乳香 一黄石 一火煎 一白粉 一朱 一山牛粉

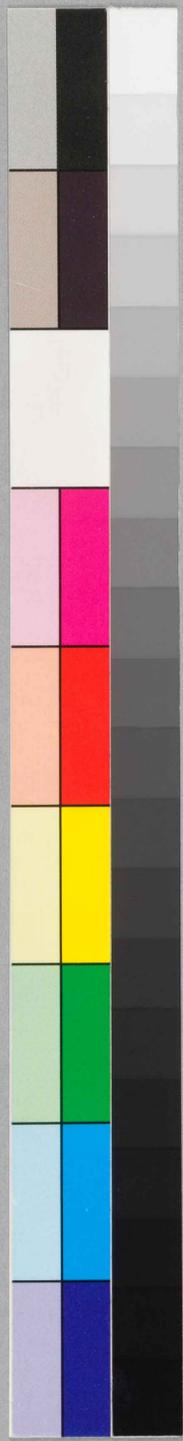
右行モ粉ノ子ニツミ八月寸ニテスリ付ル

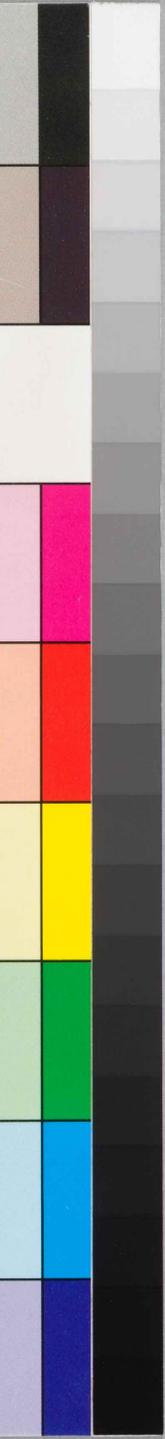
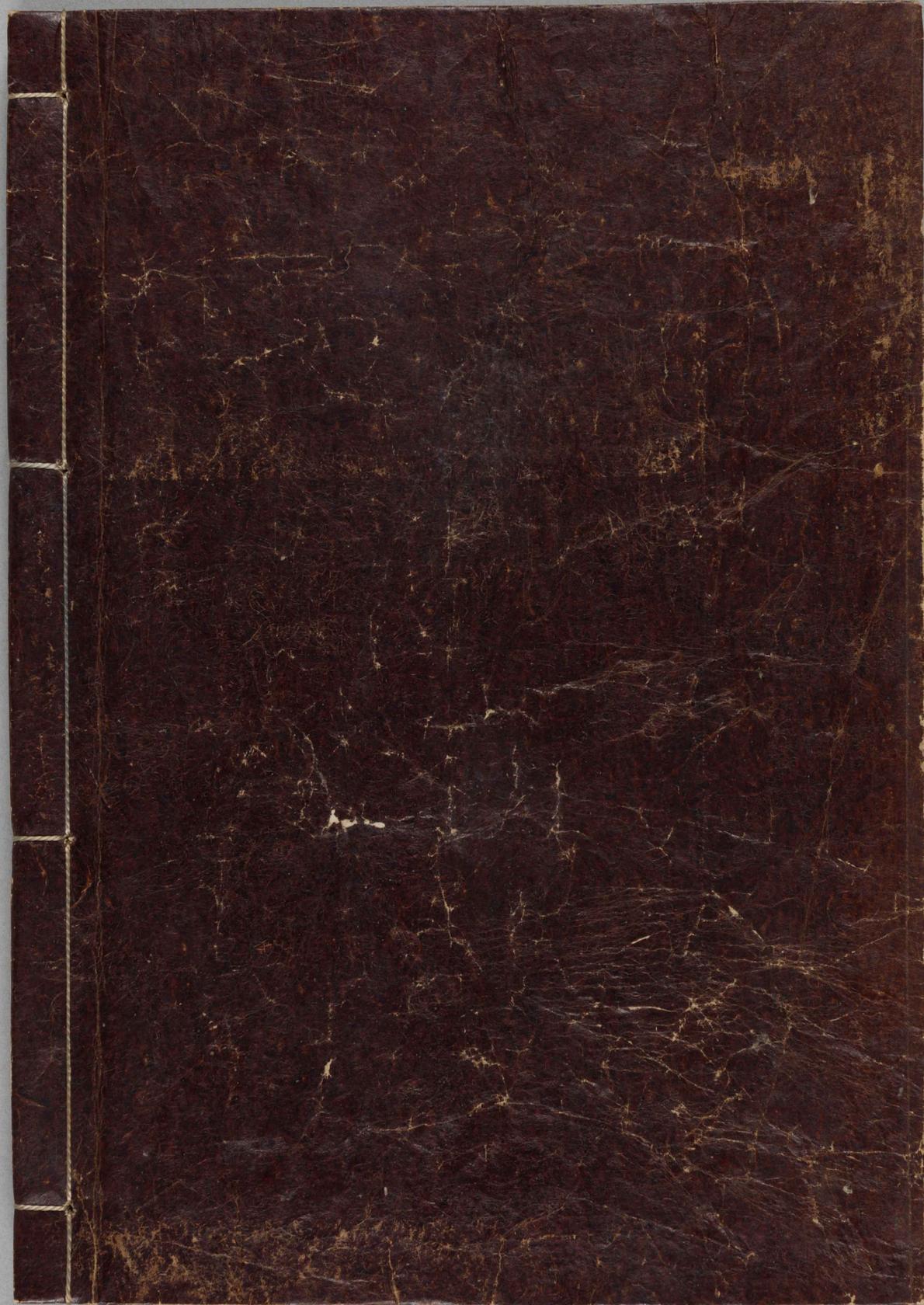
月ノ葉

一ヨシイ 一シ石 一分 一川原 一朱 一箱

5224

一カクツツガリ一ギヤ^{ニヒ}
 一自粉一トシラ一アセニ葉
 一ロロ一タンシ一ギヤ^{ニヒ}
 一カラ一ホソゲ一アセニ葉^カ者ホラ





様

室所期古字

諸病治法

金

六十五百円

浅倉屋書店

文京区弓町2の1
電話(811)7655

